



<取材のお願い>

2023年8月10日

新潟大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

メコン川流域4カ国の優秀な大学生が燕市の金属加工技術を体験

～ 新潟大学の学生と国際協働で課題解決に挑む ～

新潟大学では、8月20日（日）～8月29日（火）、経済発展が著しいメコン川流域諸国のうち、カンボジア、ラオス、タイ、ベトナムの4カ国から、優秀な大学生各3名ずつ計12名を招き、「ものづくり技術に関する分野融合視点とキャリアビジョン形成」を目的にした研修プログラムを実施します。参加するのはカンボジア王立プノンペン大学、ラオス国立大学、チュラロンコン大学、ハノイ工科大学の学生です。

日本とメコン諸国による経済大臣会合で採択された、メコン川流域地域の経済発展と産業促進を目指す戦略的枠組み「メコン産業開発ビジョン2.0」では、課題の一つとして、「競争力のある中小企業の育成を通じた産業構造の基盤づくり」を挙げています。一方、日本の中小企業には高度なものづくり技術があり、産業発展の基盤となっています。特に、中小企業の分業による金属複合加工技術が集積した燕市の産業は、需要に応じて金属加工技術を様々な分野の技術と融合させるプロダクトイノベーションにより発展してきました。

本プログラムでは、4カ国の学生たちが本学の学生と共に燕市の金属加工企業を訪問し、（公社）つばめいとによるコーディネートで、燕市の産業の発展の経緯や現状について学んだ後、実際に製造工程を体験します。また、企業スタッフへのインタビューやグループ討論により、燕市の産業に関する課題を掘り下げ、最終日前日には、課題解決に向けた提案を行う発表会を開催します。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費をJSTが支援します。

<https://ssp.jst.go.jp/>





つきましては、4カ国学生が本学の学生と共に燕市内の技術者らによる講義を受け、実習に取り組む様子、グループワークにより討論をする様子、最終発表会の様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、参加者をはじめ、実施担当の上田和孝准教授へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

【実施内容】

- 本学学生とのグループワーク ●燕三条地場産業振興センター、燕市産業資料館訪問
- 燕市内の企業訪問（技術者による講義、製造現場実習） ●最終発表会

【研修日程概要】

8月20日(日)	午後：新潟市内着 オリエンテーション
8月21日(月)	午前：オリエンテーション 午後：企業訪問前グループワーク（燕市産業・技術に関する学習、質問事項検討等）
8月22日(火)	午前：燕三条地場産業振興センター、燕市産業史料館訪問 午後：(公社) つばめいにて燕市内の金属加工産業の課題に関する講義
8月23日(水) ～8月25日(金)	終日：燕市内の製造業等にて現場実習
8月26日(土)	午前：最終発表会準備のためのグループワーク 午後：燕市近郊にてグループごとに自由活動（新潟の地域文化への理解）
8月27日(日)	午前：バスで新潟市へ移動 最終発表会のための資料作成 午後：新潟市近郊にてグループごとに自由活動（新潟の地域文化への理解）
8月28日(月)	午前：最終発表会 午後：事後学習、グループワーク、成田へ移動
8月29日(火)	午前：成田空港から離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

新潟大学

担当：工学部附属工学力教育センター国際教育部門

上田和孝（准教授）、中野祥子（専門職員）、馬場暁（教授）

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

（担当：田中(禎)、太田）